

教師登録を希望される皆様へ

家庭教師のオアシス
笠井伸春

この度は、家庭教師のオアシスに教師登録をご検討頂き、誠にありがとうございます。

家庭教師のオアシスは、平成12年ごろから志を持ったチームとしての活動を始め、まだこれからではありますが、徐々に地域の信用を得るようになってきました。そして、これからは闇雲に大きな組織にするのではなく、学習指導のプロ集団として、生徒が学習目標を達成できる様、より質の高い確かな指導力の提供を目指し、責任ある活動を続けていきたいと考えています。

そのためには、これから同じチームとなるあなたにも同じ目的意識を持っていただく必要があります。(もちろん、あなた自身のスキルアップも目的にさせていただければ幸いです。)

ですから、(ほとんどの方には失礼な表現になってしまいますが)決められた時間に言われたことだけやれば時給がもらえる、それだけが目的、というようなバイト気分では登録しないようにお願いします。

指導方法については、まずは各教師の持つやり方を尊重します。(経験が浅く、具体的なアドバイスが必要なときはご指導します。勉強会も行っております。)

ここでは、ベースとなる考え方や共通して守って頂きたい重要事項を記します。

以下の事項のすべてに同意していただくことが、オアシス教師としての共通の条件になりますので、しっかりと把握しておいて下さいます様お願いします。

生徒を自立型に変化させること

管理・強制ではうまくいかない

私(笠井)自身、大学生のときから現場で個別学習指導を続けていますが、ひとつ、確かな結論に達したことがあります。それは、生徒を一方向的に管理しようとするほど、うまくいかない、ということです。こんなことが何度かありました。生徒にやる気がない、けれども、親御さんの要望で、徹底的に生徒の時間を管理しました。ノートのとり方から問題集の効果的な使い方やその他学習ノウハウを繰り返し説明し、こと細かく日々の学習メニューを立案し、その計画が実行されているか、その計画表に毎日親御さんからサインをもらう、必要であれば、生徒本人から私の携帯に「今日の分は終わりました」という連絡を毎日義務付けて、とにかく損得を説きつつ生徒に勉強を強制しました。

しかし、大体の場合、成績は思うように上がりません。実行すれば、必ず上がるはずの学習メニューなのに、です。原因が分からず、悩みました。しかし、たまにうまくいくものですから、なお更分からない状態が数年続きました。

後で、生徒の状態を記録したノートを見返すと、管理すればするほど、生徒のモチベーションが下がっていることに気が付きました。

では、どうすればいいのか。

ほぼ間違いなく、はっきりと成績を上げる一流のプロ教師が、オアシスにも数名いらっしゃいますが(3ヶ月～半年で、中学5教科だと100点アップくらいはごく普通に起きています。)彼らプロ教師に必ず共通している考え方があります。

それは、「自分からやるようにクセ付けすること」「すぐ教えずに自分で調べさせる」「できるようになると楽しくなることを感じさせる」「私の受験体験を話して励ます」など言い方はいろいろですが、要は、やらされている状態から自立型の学習に変化させることを常に考えているのです。

自立型の学習が身につくと、普段の学習に対する行動が大きく変わりますので、かなり短期間でも目に見えて結果が出ます。

自立型に導くには

家庭教師を依頼されるご家庭のご要望の多くは「やる気をあげて欲しい」というものです。生徒にやる気を持たせるための手法は生徒一人ひとりの状態によりますが、そこに必要不可欠なことが2つあります。

1つ目は、教師が、生徒にとって見本となる人物像であること、です。短い時間でも教師がどんな考え方を持っているか、無意識的にも伝わってしまうものです。

学校の先生をイメージしてもらっても分かると思いますが、この人の話は聞きたくない、と思ってしまうと、何を言っても伝わりません。まずは、教師自身が、何か目標に向かって進んでいたり、生き活きとした人物である必要があります。

2つ目は、信頼関係です。信頼関係を作るには、まず、生徒がどんな性格でも、どんな状態でも100%受け入れてあげることから始まります。コツは、五感を使って自分が今のこの生徒だったら、どういう風に考えたり、感じるだろうかと想像し、それを口にしてみることです。そして、たとえ今がどうでも、実はこの生徒はすごい可能性と秘めた能力をすでに持っていることを教師自身がしっかりと認識・イメージすることです。(最悪なことは、「どうせ無理だろう」「やっても無駄かも」と教師が思考してしまうことです。可能性のない子供はいません。)その上で自分の役割と想いを「～くんの志望校合格をサポートしたい」「～高校(大学)に受かった～くんをみてみたい」などと自分の言葉で伝えながら、心が開いたら一緒に学習目標を決めていきます。ここまでは、生徒によりますが、数週間以上かかると思ってください。

以上が、ベースとなる考え方です。以下は具体的な事項やお願いです。

生徒、保護者との対話

繰り返しますが、生徒とは人間的に向き合うようにしてください。教師にはまず「聞く力」や「感じる力」が求められます。これが信頼を生み、信頼がこちらの熱意を伝えてくれます。目線を合わせた授業を心がけることです。逆に生徒のやる気をそぐような「なんでできないの?」「前やった問題なのに」などという言葉は、特別な場合を除いて、禁句です。

これができれば、宿題もきちんとやるはずで。

補足) 励ましの言葉「がんばれ」もモチベーションが高い状態でない限りは、よくないです。「～の試験でこうなったらいいね」「うまく行って笑顔で卒業したいね」など、生徒のよい未来を意識させる言葉が◎

また、親御さんと接するときは、学習指導に関して自信を持った態度であることが大事です。不安感を与えてしまわないようにします。

親御さんは、意外と子どもと本当のコミュニケーションをとれていない場合もあり、子どもの考えていることや、テストの点数しか学習状況を知らなかったりして、心配しています。(だから家庭教師を依頼されるわけです。) 学習指導報告書は詳細に記入し、帰りに保護者の方からサインを頂くときなどには、「今日は、～をやりましたが、基本的な問題はできるようになりましたよ。」「今日は重要連語をみっちり暗記しました。集中できていましたよ。」などと、一言話すようにしましょう。
→できれば連絡ノートを作っておくと良いでしょう。大学ノートなどでOK。

※その他、業務上の連絡事項(授業日時の変更など)が生じた場合は、必ず、保護者の承諾を得るようにして下さい。(日時などは生徒とだけで決めないこと)

授業の構築方法について

1対1の個別指導は、生徒のニーズから始まります。固定のカリキュラムではその生徒に標準があっているとは限らず、効率的ではない可能性があるからです。まず、生徒のニーズや学習歴・学力状況を把握し、その生徒本人にあった最適なカリキュラムや学習スタイルを提案し、実行する必要があります。

～大まかな授業の流れの例～

- ①計算トレーニング(簡単な問題を5分~10分でできる量で)
- ②前回の宿題のチェック→(必要なら)前回の内容理解のチェック
- ③計画に沿ったその日の授業
- ④残り10分は、その日の内容をまとめさせる(この間に連絡ノート記入)
- ⑤次回までの自主学習の指示

次に授業内容ですが、受験前までは現在の学校での授業範囲を優先します。ただし、理解できていない事項が見つかった場合は、前の単元に戻って復習する必要があります。(例:「疑問詞のある疑問文」を教えていたら、「普通の疑問文」の作り方が理解不十分であることが分かったので、戻って復習した。)

各分野の理解度を把握するには、確認テストや模擬試験などの答案を判断材料にします。(生徒には授業で使うので、答案用紙は返却されたら必ず見せるように伝えておくこと)

得意分野・苦手分野を把握したら、短期的に集中すべき科目・分野を決めます。入試科目を伸ばすことを最終目標にし、伸びる可能性の高い分野を選びます。大抵の場合は、苦手分野の克服です。やむを得ず入試まで十分な時間がない場合は、出題頻度が高い基本レベルの分野を優先してできるようにします。コツは焦らず、繰り返し返して、確実に、です。

教材について (教材はオアシスが用意できます)

オアシスでは専用の教材は扱っていません。(店頭には並んでいるもので十分と考えています)

新たに問題集などが必要な場合、生徒のレベルと目的に合わせて、市販の書籍から用意できますので、オアシスまでご連絡ください。教師が代理購入する場合も、

教材費はオアシスが負担します。(その場合は、レシートを提出してください。)

問題集の使い方については注意が必要です。2冊を1回やるより、1冊を2回やった方が学習効果が高いのです。これと決めたテキストは、最低でも2~3回繰り返してやることです。(重要!)1周目は、答えを直接テキストに書き込まずに適当な用紙(コピー用紙やルーズリーフなど)を使い、答え合わせで間違えた問題をチェックしたら、管理しやすいように各ページにテープで留めておくと便利です。2~4周目の最終段階のときは直接書き込んで完成させてもいいでしょう。この勉強法を生徒に定着させてください。(時間の都合やレベルの高い生徒で効率重視でやるときは、2周目以降は、誤答した問いのみをやっていくやり方もあります。)

中学生の場合、3年秋以降は入試問題(過去問、生徒が学校で購入したもの)も平行して進めます。そこで弱点が見つかったら、問題集などを使って同分野をマスターするよう指導します。

教師主体の授業の重要性 ~家庭教師の落とし穴~

学習効果の高い授業に不可欠なもの・・・それは、指導性です。優秀な進学塾などではしっかりした枠組みが先にあるので、結果が出やすいです。学習指導に流れがあるからです。そして、前述のとおり、家庭教師の場合、生徒にとって最高のカリキュラムを作成できるので、最も効果的な学習指導が可能なのです。

教師の皆様にはこのような教師主導型の学習指導を意識して頂きたいと思います。

もしも、この点を曖昧にしたまま指導すると1対1であるが故の落とし穴があります。

今まで、こういう事態に陥ったことはありませんか？

教師：「先週どこやったっけ？」

生徒：「先週やったのは、ここだけ。でも今日、学校でやったこの問題が分からないから、この問題を教えてほしい！」

教師：「よっしゃ！それじゃあ、その問題を見せてみい。学校の問題をやろう・・・」

これは、生徒に迎合して、先生としての指導性を発揮することなく、生徒の目の前のニーズにだけしかこたえられない、そういう状態です。質問に答えているだけでは成績はまず上がりません。目的に合わせて計画性を持って指導しないとイケません。

長期目標(志望校合格)・中期目標(各テスト対策)から落とし込んだ月単位(または週単位)の学習カリキュラムを設計していくことです。集団指導は、先に枠組みがありますが、1対1の個別指導は、その生徒の傾向(学習履歴)を把握した上で計画を作成する手順になります。

そしてあなたが作成した学習カリキュラムに沿って学習指導を実行していきます。そうすると、教師は、今、学習計画のどの位置にいるのか把握していますので、指導性が保たれます。

教師：「前回の宿題やったか？」

生徒：「ちょっとわからなかった問題はあるけどやったよ」

教師：「じゃあ答え合わせをして、分からなかった問題からはじめるね」

生徒：「今日、学校で難しい問題があったからそれを教えて・・・？」

教師：「今日の予定が終わったあとにね」

指導回数・時間について

指導日直前の休みや変更はご法度です。(急な葬儀、体調不良を除く)

月初に明確に決めた上で保護者に連絡ノートかメモ書きなどで、はっきりと知らせるようにしてください。

ただ、ずっとその曜日と時間を厳守しなければならないわけではなく、月初めに生徒・保護者の了承を得られたら追加や変更していただいてもかまいません。スタート時に例えば、「週1回90分で」という依頼だった場合でも、試験前で学習計画より遅れている、など、必要な場合は、教師の判断でご家庭に回数の追加または時間延長を提案していただきたいと思います。

また、生徒都合でお休みになったりした場合はできるだけ別の曜日に変更するなどして、授業計画に支障が生じない様に努めていただきたいと思います。

重要 指導報告書提出は期限を厳守してください ⇒ **【翌月3日24:00まで】**

必ず3日までにオアシスまで提出してください。期日を過ぎますと事務的な作業が遅れ、結果的に各ご家庭にご迷惑をかけることになってしまいます。また、オアシスの信用を落とすことにもなりえます。月末の指導が終わったら、余裕を持って早めに提出していただきます様重ねてお願いします。

どうしても都合がつかない場合は、必ず早めにご連絡・ご相談ください。

- 1 枚目→オアシスに提出
- 2 枚目→教師ご自身の控えです
- 3 枚目→月末の指導日終了後、親御さんに渡してください

その他注意事項(お分かりと思いますが、一応念のため・・・)

- ・玄関先では靴をピシッとそろえて、礼儀の良い言動を
- ・家族の方にも明るい挨拶を
- ・ラフすぎる格好(短パン、ビーサンなど)、派手な格好(茶髪、目立つアクセなど)、露出の多い格好(ミニスカート、タンクトップなど)はダメです。
- ・ご家庭のプライベートな情報は絶対に口外しないこと
- ・ご家庭やオアシスの中傷をしないこと
- ・指導中は、ガム、喫煙、携帯メール、読書などは絶対禁止です。指導時間の100%はその生徒のために使うこと(問題演習中は生徒の解く様子を観察したり、授業の構築について見直したり、何を気付かせるべきか考えたりします)
- ・時間厳守、特にテスト前の急な指導日変更も厳禁です。
- ・セクハラ、パワハラ、体罰などは絶対禁止
- ・その他、法に触れる行為は絶対禁止
- ・ご家庭には、「飲み物やお菓子は不要」と伝えてあります。ペットボトル等持参することをお勧めします。

以上です。オアシスは生徒の学力アップと共に、教師であるあなたのスキルアップにも貢献したいと考えています。何かありましたらお気軽にオアシスまでお知らせ・ご相談下さい。